

別紙3 点検表記録様式
 橋梁名・所在地・管理者名等

様式1(その1)

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	35°25'28"
				経度	140°01'51"
蔵波第二橋 (フリガナ)クラナミダイニキョウ	蔵波40号線	千葉県袖ヶ浦市蔵波地先			
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路
袖ヶ浦市	2016.10.07	館山自動車道	有	一般道	無

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)			点検者	点検責任者		
点検時に記録			措置後に記録			
部材名	判定区分 (~)	変状の種類 (以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	措置後の 判定区分	変状の種類	措置及び判定 実施年月日
上部構造	主桁	-	写真1 斜材01			
	横桁	-	-			
	床版	-	-			
下部構造	-	-	写真2 胸壁01			
支承部	-	-	-			
その他	-	-	写真3 地覆(シール材)			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 ~)		措置後に記録	
(判定区分)	(所見等)	(再判定区分)	(再判定実施年月日)
	斜材にひびわれ、胸壁に漏水が見られるが、直ちに補修する緊急性はなく、少なくとも次回の定期点検までに構造物の安全性が著しく損なわれる事は無いと思われる。		

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1995年	44.84m	6.0m

起点



終点


架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(損傷状況)

様式(その2)

部材単位の判定区分が、又はの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

写真1 上部構造(斜材01)【判定区分: 】	写真2 下部構造(胸壁01)【判定区分: 】
	
写真3 地覆(シール材)【判定区分: 】	【判定区分: 】
